

横濱地図博覧会とは?

開港150周年にちなみ、横浜の歴史、生活文化に深く関わってきた様々な地図を今昔交えて展示します。
6月のvol.1では、伊能忠敬が歩いた日本を巨大なマップとして楽しむ「完全復元伊能大図」を中心に、まちづくりや地図づくり、ウォーキングをテーマに、海に面した大さん橋ホールで展開します。
9月にはvol.2として、赤レンガ倉庫で、横浜の形成を物語る貴重な地図、ペリー艦隊来航からの歴史を学ぶ地図を中心に展示し、開国博の開幕から閉幕をつなぐ、市民発の大規模なイベントです。

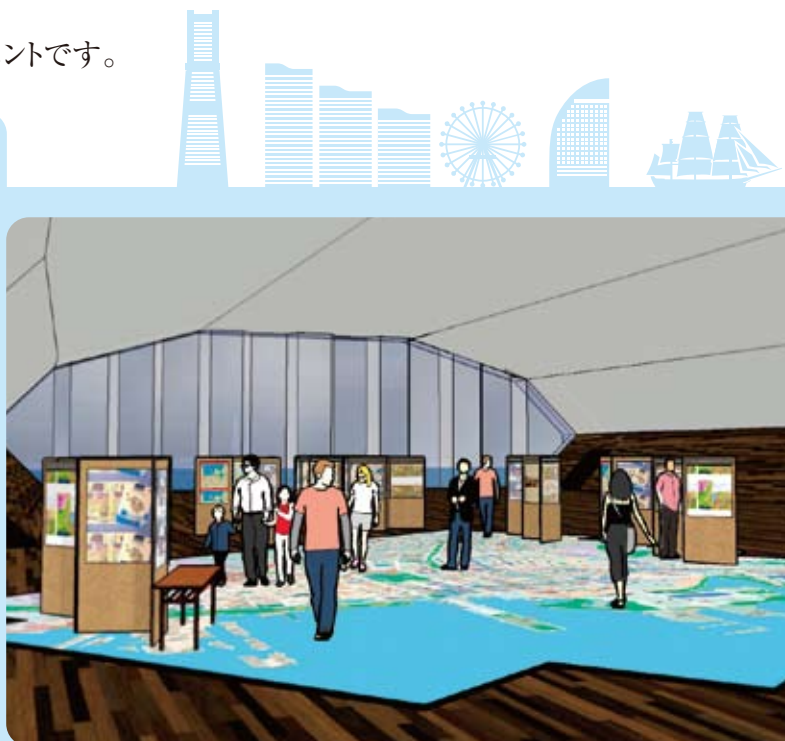
横濱地図博覧会2009 vol.1 伊能大図と今横浜 6月2日(火)–5日(金)

伊能忠敬 体感ゾーン

巨大な「完全復元伊能大図」(1/36000)の上で、伊能忠敬が歩いた近世の日本を体感

今横浜 展示ゾーン

- ウォーキング、防災や横浜の商店街に関するマップなど
横浜中心部住宅マップ…1/500フロアマップ(提供:株式会社ゼンリン)
- まちづくりエリア…マザーポートエリア内回遊ルートマップ「たねまるマップ」ほか
- 横浜市立大学 後藤ゼミによる三次元GIS
- 伊能大図に関するトーク、地図づくり交流イベントなども予定



横濱地図博覧会2009 vol.2 150年の地図ものがたり 9月22日(火)–25日(金)

時代を反映する地図たち

- 1858年ペリー艦隊により作成された海図「BAY OF EDO」
- 実測図、絵地図、鳥瞰図、鉄道路線図、商業地図等の地図展示
- 当時の絵葉書などのビジュアル展示 ほか
- 関連トークイベントを予定

問い合わせ 横濱地図博覧会2009実行委員会

〒231-0021 横浜市中区日本大通34 ZAIM本館301
NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ内
TEL:045-309-9944 chizuhaku@yokohamalab.jp



国際航業株式会社

